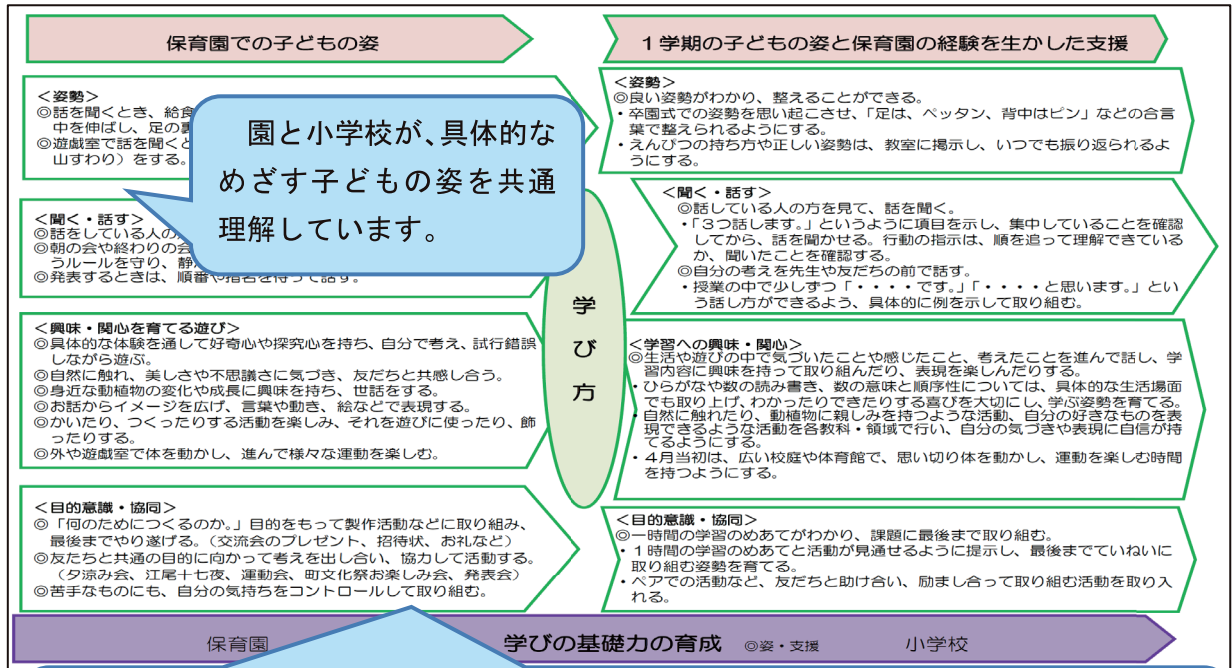


第V章 園と小学校の円滑な接続に向けた取組

園児と小学生との交流活動、職員同士の連携・交流など、子どもの育ちと学びをつなぐための取組が広がっています。

1 接続期の子どもの姿の共通理解



幼児期（主に年長児）の発達の様子をもとに、接続期の学習のめあてや支援の仕方を考えています。【学び方】の他に、【基本的生活習慣】【人とのかかわり】に関しても、発達の連続性を意識して作成しています。

2 スタートカリキュラムの編成

小学校スタートカリキュラム

大単元「みんな なかよし」(全78時間)

ねらい・体験的な活動を通して、友達や先生、先生方など、身の回りの人々と進んでかわかろうとすることができる。

- ・学校のきまりやマナーを知り、きまりを守って、安心して生活することができる。
- ・学校の施設や自然に親しみをもち、学校生活を楽しくすることができる。
- ・学校の中で自分が誇り、思いやり、感じたりしたことを、自分なりの表現で伝えることができる。

【単元の構成】

子どもの意識の流れ

1ねんせいの スタート!! (4月第2週・14時間)

ねらい・学校のきまりや生活について知り、約束を守って楽しく学校に通うことができる。

入学式 (行事1)

学校生活のきまりを知ろう

- ・トイレ・下足履・ロッカーの使い方・朝の朝顔の約束・廊下の歩き方 (朝顔2)
- ・楽しい給食 (学食1/2)
- ・発声練習 (行事2)
- ・安全な下校 (学食1/2)
- ・校区別児童会 (行事1)

学校で何を勉強するの

- ・はははははは (国語2) 挨拶・源平・自由遊び
- ・顔の動き・きょうかじよって (国語1/2)
- ・はながたたく (国語1と1/2) 読み聞かせ
- ・うたでなかなかならう (音楽2)
- ・知って、なげ、わらべ歌・手遊びなど
- ・なかくらんどら (体育1) ならびひこななど
- ・クラスのみんなと生活 (生活2)

不安な気持ちを抱えていることを踏まえて、周りの人々が入学を祝い、見守るよう進める。

・小学生として身につけなければならない生活習慣や学校でのきまりに気付かせ、意をもって取り組めるように支援する。

・学習指導の他にも、学校生活のきまりについては、具体的な場面で繰り返し指導する。

・教職員をはじめ、6年生にも協力をおお朝の準備や給食や掃除、下校の指導や手いをしていただき、学校体制で支えていく。

◎臨場教材 3時間

国語 (2)・「みつけたよ」

算数 (1)・算数の導入

ともだちたくさんつこう (4月第3週・17時間)

ねらい・体験的な活動を通して、学年や学年の仲間と仲良くかわかろうとすることができる。

じぶんのことをしらせよう

- ・じをかこう (国語3)

いっしょに活動しよう・なかよくなる

- ・体験的な活動を大切にしながら、思ったことを安心して表現できる雰囲気作りを心がける。

週案

単元名	4月第2週(4日)	4月第3週(5日)	4月第4週(5日)
ねらい	学校のきまりや生活について知り、約束を守って楽しく学校に通うことができる。	体験的な活動を通して、学年や学年の仲間と仲良くかわかろうとすることができる。	学校探検などの活動を通して、まわりの施設や学校の施設や仲間と仲良くかわかろうとすることができる。
行事	入学式(1) 発声練習(1) 校区別児童会(1)	1年生を迎える会(1) 心電図(1)	1年生を迎える会(1) こんな学年にしたいなあ(1/2)
特別活動	安全な下校(1/2) 楽しい給食(1/2)	学習準備の仕方(1/2) こんな学年にしたいなあ(1/2)	1年生を迎える会(1/2) こんな学年にしたいなあ(1/2)
生活3	トイレ・下足履・ロッカーなどの使い方 朝の時間の約束 廊下の歩き方	6年生や先生となかよくなる	先生にインタビューしよう
国語	ともだちたくさんつこう クラスのみんなとあそぼう(2) 自己紹介ゲームなど	学年のみんなであそぼう(2) 1年生を迎える会の準備をしよう(1)	わたしのがっこうどんなのがっこうたんけんしたいか がっこうたんけんに行こう
算数	はははははは 挨拶・源平・自己紹介・話の聞き方 教科書読んでなあ(1/2) はながたたく(読み聞かせ・紙芝居など)(1と1/2)	はながたたく(読み聞かせなど) じをかこう(はじめての名前)(3)	2年生に学校のひみつをおろそう(1) みんなにつたえよう(1) 先生のインタビューをしよう
音楽	2・みつけたよ(2)	2・みつけたよ(2)	あいうえおのうた(5) はははははは(1)
体育			はははははは(1)
生活			じぶんのこと(1) じぶん(1) じぶん(1)
その他			よしにならう(2)

幼児期に体験してきた遊び的要素と小学校生活の中心をなす教科学習の要素の両方を組み合わせたカリキュラムを編成しています。

第V章 園と小学校の円滑な接続に向けた取組

3 交流活動の充実

(1) 年間交流計画の作成

平成26年度 A保育園・B幼稚園・C小学校 年間交流計画																
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
幼稚園・保育園	年長児 保育内容・ねらい 《よろしくね、なかよくならう》 「いっしょにあそぼう」 ●年長になったよこびを受け止めなら、必要な習慣を身に付けたり、当番活動などの仕事に進んで取り組んだりする。 ●友達や異年齢、園同士の交流などを通して友達とのつながりをつくる。				《かっこいい年長さんにならう》 「運動会」「生活発表会」 ●大きな行事を通して、友達と協力したり、目標に向かって取り組むことの大切さを知る。 ●年長として、園の友達のお手本となるように、見通しやめあてをもって練習に取り組む。				《もうすぐ1年生》 「学校へ行く」「体験入学」 ●1年生との交流や体験入学を通して、就学への関心と期待を高める。 ●卒園に向けての生活や就学までに身につけたいことに取り組み、就学に向けて充実感や安心感をもって過ごす。							
A保育園 主な行事	入園・進級式(4)	参観日(24)		夕涼み会(19) 川遊び(29)		運動会(20)		もちつき大会(6) 未満児生活発表会(22)	以上児生活発表会(6)	新年子ども大会(8) 参観日(17)		卒園式(28)				
B幼稚園 主な行事	入園式(10) 参観日(26)		年長参観体育(5) 家族参観日(22)	夏祭りバザー(5) お泊まり保育(24~25) 夏季休業(7/23~8/31)		運動会(28)	祖父母参観日(27)	参観日・教育講演会(5)	音楽発表会(7) 冬季休業(12/25~1/8)	作品展(22~23)		参観日(5) 卒園式(18)				
幼保小交流	【保・幼稚園員】 1年生の授業参観 【職員】連絡会 交流会打ち合わせ 新1年生の様子 於:C小学校				【6年生】 【3歳児】 3歳児とのふれあい体験 於:A保育園 B幼稚園				【小学校職員】 年長児の保育参観 聞き取り				【職員】連絡会 交流の反省と来年度に向けて 於:城北小学校			
小学校	6年生 総合的な学習 ●園児とのふれあい等を通して、多くの人に支えられて育った自分に気づき、感謝の気持ちを伝えたり、将来の自分をまもたりする。				《自分の成長について振り返ろう》 「年少児とのふれあい体験」 交流や事前の準備を通して、自分の成長を振り返ろう。				「小学校で一緒に遊ぼう」 年長児が期待をもって入学できるように、一緒に楽しんで活動し、小学校の良さを伝えよう。				《将来の夢に向かって》 「地域で働く先輩の話を聞こう」 今の自分にできることを考えよう 将来の自分をまもよう。			
1年生 生活科	《もうすぐ2年生》 「ようこそ1年生」 新しい1年生と仲良くなろう。 「体験入学」 1年生の学習や生活をつたえよう。 「わたしの1年かん」 1年間の成長をふりかえろう。				●1年間を振り返る活動や園児との交流を通して、自分の成長に気づくとともに、かかわってくれた人たちに感謝の気持ちや進級への意欲をもつ。								【6年生】 【保育園・幼稚園職員】 地域で働く先輩の話を聞こう 於:C小学校			
主な行事	入学式(8) 参観日(25)	運動会(25)	心の教育参観日	夏季休業(7/22~8/25)	D中校区一斉公開(17~22)	就学時健診(23) マラソン大会(28)	学習発表会(23)	冬季休業(12/26~1/6)	参観日(27)			卒業式(19) 修了式(24)				

小学校区にある2つの園との交流について、年度当初に担当者が集まって作成します。小学校も総合的な学習の時間や生活科等の教育課程の中で計画的に園児との交流を組み入れています。

園児と小学生の交流



マラソン交流



休憩時間のしっぽとりおに



一緒に秋見つけ

(2) 交流活動指導案の作成

保育園年長児と小学校1年生との交流会 指導案		平成26年10月17日	
1 本時目標と評価			
年長児	1年生		
(意欲) 本時のねらい： 学校探検や乗り物クイズを楽しみ、1年生とのふれあいを通して、小学校生活への期待をもつ。	(国語科) 本時目標： 年長児のために、小学校を案内したり、乗り物クイズをしたりして、小学校の楽しいところを分かりやすくはっきりと話することができる。		
評価： 1年生の発言や行動を聞いたり見たりして、興味を持って活動しようとしている。(心情・意欲・態度) 子どもの姿： ・学校案内の説明や乗り物クイズを楽しんでいる。(行動・発言)	評価： 年長児を期待を持って迎えようとしている。(関心・意欲・態度) 子どもの姿： ・年長児のことを意識して学校を案内している。		
3 本時の展開			
事前指導	活動	○年長児への援助、配慮 ☆評価	○1年生への指導上の留意点 ※支援 ☆評価
・1年生と一緒に学校探検や乗り物クイズぶことを知らせ、期待をもたせる。 ・一緒に歌う歌を練習しておく。 ・学校探検をする時に気をつけることを考える。	○1年生について音楽室まで歩いていけるよう、声かけをする。 ○1年生や先生の話を最後まで見て聞くように声かけをする。 ○歌や手遊びで気持ちをほぐし、楽しい雰囲気グループの活動に入れるようにする。 ○グループになり、仲良く歩いていけるように声かけをする。	○代表児童(各クラス2名)が年長児を迎え、音楽室まで案内する。(年長児の足下は1階会議室後ろ) ○音楽室を全体会場とする。 ○進行は1-4の児童が行う。 ○安全(活動範囲、遊び方)に活動すること、他の学年が学習中であることも確認しておく。 (1クラス年長児10名前後) ※スキップのできる遊びをして、和やかな雰囲気をつくり、グループの子ども同士が親しくなるようにする。 ○各教室で、1年生の作った乗り物折り紙劇場・クイズを紹介する。 ○学校案内の目安の開始時間になったら、小学生がおすすめるスポットに行き、理由を話させる。 ○学校案内の目安の開始時間になったら、小学生がおすすめるスポットに行き、理由を話させる。	○1年生について音楽室まで歩いていけるよう、声かけをする。 ○1年生や先生の話を最後まで見て聞くように声かけをする。 ○歌や手遊びで気持ちをほぐし、楽しい雰囲気グループの活動に入れるようにする。 ○グループになり、仲良く歩いていけるように声かけをする。
交流の概要 ・学校探検を一緒にしてグループで関わ	10:00～ ・はじめの言葉(1-2児童) ・歌「山の音楽家」 ・先生の話(小学校)(めあての確認、活動内容、約束等) ・手遊び遊び	○1年生のクイズを静かによく聞き、すすんでこたえられるよう声かけをする。 ○学校案内を頼りに歩くことを再確認	○1年生のクイズを静かによく聞き、すすんでこたえられるよう声かけをする。 ○学校案内を頼りに歩くことを再確認
	10:40～ ・1年生各教室へ移動し、のりものクイズをする。 その後、学校案内をして、学校案内を頼りに歩くことを再確認	○一言でも感想が言えるように声かけをする。 ○グループでの感想交流が難しい場合は、指導者が会話に入りながらお互いの思いを出させるようにする。	☆年長児のことを意識して学校を案内している。(行動・発言) ○音楽室に全員が戻り、交流して楽しかったことを数名挙手で発表させる。教師からもよかった子どもを紹介する。(小学校・保育園の指導者各1名) ※全体でいくつか発表を聞いた後、グループで感想を交流させる。
	11:00～ ・感想発表 ・ペアで感想交流 ・先生のはなし		
	11:10 終了予定		
4 事後指導			
年長児	1年生		
・楽しかったこと、経験したことをみんなの前で話す。	・楽しかったこと、気付いたこと、めあてができたか、年長児とかかわりをもてたかを振り返り、絵や文でワークシートに書く。		



～よろしくね～

事前に話し合いをし、ねらいをはっきりさせることで、活動内容を精選し、互惠性のある交流になるようにしています。

事前指導
・1年生と一緒に学校探検や乗り物クイズぶことを知らせ、期待をもたせる。
・一緒に歌う歌を練習しておく。
・学校探検をする時に気をつけることを考える。



～のりものクイズ～

本時に至るまでの事前や事後の指導についても話し合いを行い、計画的に見通しをもって交流をしています。



～お話しよう～

(3) 園児と小学校児童の交流活動実践事例

5歳児・1年生 実践事例 あきとなかよし ～秋の自然物で遊ぼう～ (10月)

5歳児 観点(興味・関心) 視点(意欲～おもしろそうだな～)

【遊びの経過】

春から近隣散歩や里山探検など、フィールド遊びを重ねることで、自然物や生き物に親しんだり、図鑑を使って植物や昆虫の名前を調べたりする姿が見られるようになった。また、友達と小学校生活について語り合うなど、就学への関心が高まってきている。

【ねらい】

- ・1年生と一緒に秋見つけをし、季節の変化や自然に触れて遊ぶことを楽しむ。
- ・1年生の言動に触れる中で、1年生への憧れや就学への期待感を高める。

【評価】

- ・ペアの1年生と会話をしながら一緒に秋見つけを楽しみ、1年生への憧れや就学への期待感を高めている。

1年生 (生活科)

【活動の経過】

生活科の学習で、自然に対する体験的学習を積み重ねてきており、自然物を使った秋まつりを年長児と一緒にすることを目標に、楽しい遊びを企画しようという意欲を持っている。

【ねらい】

- ・年長児と一緒に秋見つけをすることで通して、相手意識を持って交流をすすめようとする意欲を持つ。

【評価】

- ・年長児の思いを聞きながら、相手意識を持って楽しい遊びを計画する意欲を持っている。

○幼児の活動

★環境の構成

■保育者の援助

★安全かつ様々な自然物にふれることができるよう、事前に散歩コースを下見しておく。

○自己紹介とミニゲームをする。

よろしくね。
【人とのかわり】



- 事前に保・小で協議し、児童理解や互いのねらいを確認しておく。(保・小)

- 園で行っている遊び(あいこじゃんけん)を取り入れることで緊張をほぐし、ペアの1年生への親近感を持たせる。(保)

- 1年生がリードしながら、安心して遊びを進められるように、必要に応じて言葉かけをする。(小)

○近隣散歩をしながら、秋見つけをする。

これ、きれいな色だね。
【気付き】



ほんとだ。
【共感】

あっちにも行ってみようか。
【思考・表現】



ドングリが少ないからあげよう。
【人とのかわり】

おにいさん、やさしいな。
【あこがれ】

- 子どもの気付きを促すような言葉かけをする。(保・小)

- 危険がないように全体の様子を職員全員で見守りながら、自由度のある活動を保障する。(保・小)

○秋の遊びに関連した本や生活科の教科書を一緒に見て、話し合う。



何が作りたいかな。これはどう。
【相手意識】

ドングリでこまがつくりたいな。
【意欲】

- 後日「秋の実祭り」をすることを伝え、自分のやりたい遊びについての思いを伝えられるように声かけをする。(保)

- 年長児の思いを聞き取るというねらいを伝え、「秋の実祭り」の企画への意欲を高める。(小)

- 自分の思いや考えを1年生に伝えられた姿を賞賛し、自信をもたせることで、入学への期待感を高める。(保)

【考察】

- ・自己紹介の際に、園で行っている手遊びやミニゲームを取り入れることで、ペアに対する親近感や活動への安心感をもつことができた。また、1年生の思いやりのある言葉かけや行動から優しさを感じ、話を聞こうとしたり会話したりする姿が多く見られた。そのため、年長児が受け身にならず、主体的に活動する姿が見られた。
- ・拾った秋の実を使って遊ぶことへの期待感が高まっている姿が見られた。2回目の交流では、年長児が自分で選べるコーナー遊びを取り入れた「秋の実祭り」を1年生の企画・準備で行い、保・小それぞれがねらいを達成できるような交流にしたいと考える。
- ・秋見つけの活動が、木の実拾いに限られてしまっていた。フィールドビンゴ等を取り入れ、木の葉の色や空気の冷たさ、種類の異なるドングリの違いなど、子どもの視点を広げる工夫が必要だと感じた。

5歳児 観点 (興味・関心) 視点 (意欲~おもしろそうだな~)

【遊びの経過】

春から園庭や散歩道で、季節の草花や虫を見つけて遊んだり世話をしたりしてきた。また、運動会や就学児健診などを通して、就学への関心が高まってきている。

【ねらい】

- ・落ち葉や実、草花などを見つけたり、遊具などで遊んだりして楽しむ。
- ・1年生と一緒に活動する中で、小学校就学への期待を膨らませる。

【評価】

- ・1年生と一緒に、いろいろな色や形、大きさの落ち葉や実、草花などを見つけ拾ったり、好きな遊具で遊んだりしている。
- ・活動する中で1年生の言動に触れ、小学生と会話を通して、就学への期待を膨らませている。

1年生 (生活科)

【活動の経過】

春から学校のまわりや至剛の森で、草花や虫などを見つれたり遊んだりしながら自然に親しんできた。

【ねらい】

- ・年長児と一緒に、諸感覚を使って秋を感じ、季節の変化に気づくことができる。
- ・年長児に至剛の森を案内し、落ち葉や実などを一緒に探すことを通して、秋の自然の楽しいところを伝えることができる。

【評価】

- ・諸感覚を使って、年長児と一緒に秋を感じようとしている。
- ・年長児に至剛の森の楽しいところを教えてあげたり、落ち葉や実などを一緒に探したりすることができる。

【 ■保育者の援助 ○活動 ★環境の構成 □教師の支援 】

- ★支援の必要な年長児には、安心して活動できるように同園卒園の1年生と同じペアになるように組んでおく。
- ★事前に1年生担任と協議し、互いのねらいを明確にしておく。 ★事前に、至剛の森の安全を確認しておく。
- ★1年生は自己紹介カードを用意し、ペアの年長児に渡すようにしておく。

< 5歳児 >

○ペアになり自己紹介をする。(出会いの会)

< 1年生 >

- 安心して探検ができるように、1年生とペアになっているかどうか確認する。
- 自己紹介をする前にじゃんけん遊びをして、緊張をほぐしてから自己紹介ができるようにする。
- 名前を呼ばれたら大きな声で返事をしたり、自己紹介したりできるように近くで見守る。



うれしいな。
【喜び】【期待】

喜んでくれるといいな。
【かかわる楽しさ】

- 自己紹介をする時に、ペアの年長児に自己紹介カードを渡しながらかんげいをするように声をかける。

- 自分の気持ちが伝えられない年長児には、寄り添って一緒に行く。

遠くの山が見えるよ。
【喜び】【満足感】

○至剛の森を探検する。

ドングリは、どこにあるかなあ。たくさん拾いたいな。
【興味・関心】【意欲】



ドングリが落ちているところを教えてあげるね。
【相手意識】【表現】

- ペアの年長児と一緒に過ごすように、見守る。
- ペアの年長児に優しく教えたり、歩く速さを合わせたりしている姿を認め、周りの子どもにも広げる。
- 事前に遊具 (ブランコ・ターザンロープ) の使い方を説明し、危険なく遊べるように教職員を配置する。

すごい。食べられるきのこかなあ。
【疑問】



○至剛の森を探検した感想を話す。(お別れの会)

- 自分の思ったことや感じたことをみんなの前で伝えられたことを認め、自信につなげる。

- 感想を交流し合い、共有することで、自分が年長児の役に立っていたことに気づかせ、満足感を味わわせる。
- 自分の感じた秋をカードに書くことを知らせ、次時のおもちゃ作りにつなげるようにする。

【考察】

- ・初めての交流だったが、1年生が自分の役割を自覚し、年長児を優しくリードすることができた。そのため、年長児は至剛の森に入ると落ち葉や木の実を拾ったり、遊具で遊んだりして、安心して最後まで夢中になって遊ぶことができた。
- ・至剛の森や小学校での交流会へ行きたいと家庭でも話をする年長児が多く、就学への期待を膨らませることができた。同時に、次回の交流会で計画している学校図書館への関心も高まるなど、今後の交流につながるものとなった。
- ・園と小学校が離れているため、移動時間が長くなり、交流する時間が短くなってしまった。今後の交流をより充実したものとするために、年間交流計画や園・小学校の指導計画の検討が必要である。

4 幼保小連携に向けた取組例

小学校教員による出前授業

小学校に関するクイズや数量に親しむ活動などを通して、入学前の子どもたちの小学校の生活や学習に対する期待が高まっています。また、就学前の子どもの姿にあわせて、スタートカリキュラム編成や指導方法等の工夫につないでいます。



保育者の授業体験



小学校1年生の学習指導を保育者が体験し、卒園した子どもたちが、どのように小学校生活を送ったり、学習をしたりしているのかを確認します。そして、園での育ちや学びを小学校へつないでいくための教育・保育について考えるきっかけとなっています。

小学校の休憩時間を利用した交流



いっしょに遊ぼう。
何して遊ぼうか。



お兄ちゃん見て。
たんぼぼ見つけたよ。

日頃から小学校の校庭を散歩コースにする、小学校の休憩時間と散歩の時間が合うようにしておくなどの工夫で、様々な学年の小学生とふれあう環境を無理なく作り出しています。

小学校区における取組



校長・園長の
幼保小連携推進協議会



夏季休業日を利用した
小学校教職員の保育体験

小学校区の校長、園長が集まり、校区の子どものよさや課題を共有し、めざす子どもの姿について話し合います。教職員は、互いの保育・授業の参観や保育体験、合同研修会等を通し、互いのよさや教育内容を知り、めざす姿に向けて共通の取組をしています。



幼保小合同研修会

小学校教員の幼稚園・保育所・認定こども園における長期社会体験研修



1年間の保育体験を通し、幼児教育や幼児期の発達を理解し、幼児期の育ちを踏まえた小学校低学年での指導のあり方について研修しています。

各自の研修テーマに沿った研修生の気付きや学びを、小学校教員・園の保育者や保護者等に伝える取組が円滑な接続の一助となっています。また、交流・連携推進担当として、園・小学校それぞれの教育内容をつなぐ架け橋となっています。

園の保護者向け通信の作成



かけはし

No.3 平成27年7月23日

しめじめ・むしむしする梅雨も明け、本格的な夏が始まりました。大人でも体調を崩しやすい季節ですが、さくら組のみんなは大きく体調を崩すことなく元気な顔で過ごしています。暑さに負けない体力がついているんだな、とうれしく思います。

小学校5年生との交流会

7月3日にA・B保育園の年長組さんと小学校5年生との交流会がありました。今回の交流会はプールでの活動でした。

小学校のプールは主に1、2年生が使う小プールと3～6年生が使う大プールの2つがあります。今回の交流会では小プールを使いましたが、小プールと言っても保育園のプールよりも深くなっているので、中にはドキドキした子もいたかもしれません。でも、優しいお兄さん・お姉さんと一緒に大好きなプールに入ること、気持ちもほぐれてきたように感じました。途中の休けい時間には「昨日見たテレビは?」「今日の朝食食べたものは?」などのお題で会話を弾ませているグループも



「すいちゅうかもつれっしや」をしました。プールの中だと、いつものかもつれっしやと感じが違います。

あり、微笑ましかったです。

保育園に帰ってから、感想を聞くときすべての子どもたちが手を挙げて発表していました。「すいちゅうかもつれっしやがたのしかったです。」「おにいさんがやさしくてうれしかったです。」など、楽しかった・うれしかった、という思いが伝わってきました。また、子どもひとりひとりが感じたことを発表しようとする姿を見て交流会を通して良かったなと思いました。



大きなビート板(浮島)に乗ってプールの中をスイーと移動しました。

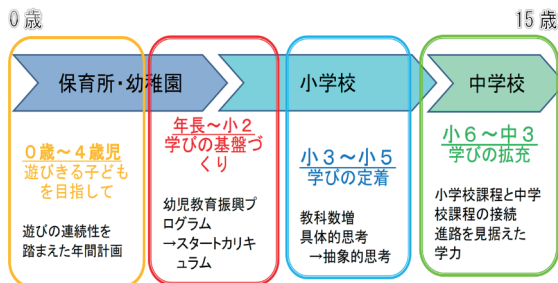
2学期にも1年生や5年生との交流会があります。交流会を重ねることで、小学校に入学することを楽しみにする気持ちを持ってくれるといいな、と思います。

小学校の生活について② ～あいさつ～

保護者の方の中には「もうすぐ小学校入学だから、何かしておかないといけないから?」と不安に思っておられる方はいませんか?確かに小学校と保育園とは生活は変わりますが、特別に何かをする必要はないと思います。それよりも大切なことは、普通のことを普通でできる力をつけてほしいと思います。その中の一つにあいさつがあります。保育園でも登園した時には顔をみて大きな声で「おはようございます。」とあいさつをしています。ご家庭でも朝起きた時には「おはよう」、寝る前には「おやすみ」など言えるようになるといいですね。あいさつはコミュニケーションの第一歩です。小学校でももちろんですが、大人になっても大切なことですね。保育園の頃から、自分から進んであいさつができるといいなと思います。

中学校区における学びの姿育成のための取組

15年間を見通した学びの姿



保・幼・小・中 校内研究の充実

園の保育・教育目標
「心も豊かにたくましく生きる元気いっぱいの子
～友達と共にそだちあう・心も体も～」

小学校 研究主題
「進んで学び、考えを伝え合う子どもの育成」
～夢になる算数の学習をめざして～

中学校 研究主題
「思考力(深く)・判断力(正しく)・表現力(美しく)を高めていく生徒の育成
～『総合的な学習』と教科学習の相互作用をはかり、各教科で求められる思考力を高める～」

園・小・中学校がそれぞれ年齢に応じたねらいをもって取組を行う。



小学生と園児のなかよし遠足



幼小中合同運動会



小学生と園児の合同学習

「遊びきる子ども」の姿がどのような学びの力につながっていくのかを中学校区で共通理解し、交流活動計画や研究計画等に位置づけています。0歳から15歳までの学びの姿を見通した実践を行っています。

市町村の幼保小連携のための取組



幼保小連携の推進を図るため、市内の全園長・小学校長及び行政関係者を構成員として「幼児教育研究会」を設置しています。平成27年度は小学校区ごとに子どもたちのよさや課題等を出し合い、重点目標を明確にする協議を行いました。幼保小がつながって一貫性のある保育・教育をめざす取組を進めています。